

(別添7)

事業所名 グループホームほのぼの

2 目標達成計画

作成日: 令和4年 6月14日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	・重度の認知症の利用者が多く、周辺症状への対応に苦慮している。認知症に対する知識を更に深め、知識を活用した対応をしていく必要がある。	認知症に関する勉強会を行い、どうしてそのような言動が起こるのかを理解することが出来るようになることで、より良い介護を行えるようになる。	・毎月のケア会議の際に、15分程度のミニ勉強会を行う。 ・認知症に関する資料を準備し、誰でも閲覧できるようにしておく。 ・外部の研修会にも積極的に参加を勧める。オンラインでの参加が可能な研修会は施設内で視聴が出来るようにし、職員に参加してもらう。	12ヶ月
2	35	避難訓練の回数が少ない。決まったパターンの訓練しかできていない。	毎月1回、訓練を行う。火事や地震、風水害、夜勤帯での避難などを想定した訓練やマニュアル作成を行う。	・1年間分の訓練スケジュールを作る。(毎月の訓練予定日を決めておく) ・どういう訓練が必要なのか、職員から意見を募り、その訓練をどのような流れでしたらよいのか、事務所交えて話し合い、マニュアルを作る。実際に訓練も行う。	12ヶ月
3	1	事業所独自の理念が無い。	事業者独自の理念を職員全員で話し合いながら作り上げる。その理念をもとに介護をしていく。	・アンケートで職員全員のこういう介護をしていきたいや、こういう施設にしていきたいという気持ちや意見を集める。 ・集まった意見をもとに職員で話し合い、ケア会議で理念を作り上げる。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。